CORPORATE NEWS

2026 年 5 月 27 日

建築・建設分野における脱炭素化の推進に向けた取り組みを加速

UNEP（国連環境計画）が主導する「GlobalABC」に加盟

ダイキン工業株式会社は、このたび、建築・建設分野における脱炭素化の推進を目的とした国際的イニシアティブ「Global Alliance for Buildings and Construction（GlobalABC）」に加盟しました。

Global Alliance for Buildings and Construction

GlobalABC は国連環境計画（UNEP）が主導する国際的な枠組みで、建築・建設分野におけるエネルギー効率の向上や温室効果ガス排出削減を目的に、400 以上の政府機関、国際機関、企業などが参画しています。国際的な連携のもと、各国のロードマップ策定に向けた指針の提供や、ワーキンググループでの議論などを通じて、世界全体での脱炭素に向けた取り組みを進めています。

ダイキンはこれまで、各種イベントへの参加や対話を通じ、GlobalABC との連携を進めてきました。2025 年 11 月にブラジル・ベレンで開催された COP30 では、GlobalABC が主催するセッションに登壇し、省エネ性に優れた空調やヒートポンプ暖房の普及加速に向けた取り組みや考えを発信しました。

近年、気候変動への対応が世界的な課題となる中、建築・建設分野における脱炭素化の重要性は一層高まっています。住宅やオフィス、商業施設などの建築物は、世界全体の CO_2 排出量の約 4 割を占めています。特にエアコンなどの冷暖房に伴うエネルギー消費による排出割合が高く、国際的にも当社が果たせる役割が大きいことから、今回 GlobalABC の加盟を決定しました。

また、近年は建物使用時のエネルギー消費による排出削減に加えて、資材・設備の製造、建設、解体までを含めた建築物のライフサイクル全体における排出、いわゆる「ホールライフカーボン」の削減も重要視されています。当社は GlobalABC の加盟を通じて建築セクターとの連携を深め、建築物のライフサイクル全体での温室効果ガス排出削減にも貢献していきます。

ダイキン工業株式会社　常務執行役員（CSR、地球環境、渉外担当）　澤井克行のコメント

ダイキンはグローバルに事業を展開する空調のリーディングカンパニーとして、今後も建築分野の脱炭素化に資するソリューションの普及と実装を着実に進めていきます。あわせて、こうした価値が適切に評価される環境づくりにも取り組み、国際社会と連携しながら持続可能な社会の実現に貢献します。

参考情報：

「Sustainable Buildings and Construction Summit（SBCS）2026」への参加について

ダイキンは、4 月 20 日から 22 日に GlobalABC 主催で開催された国際会議「Sustainable Buildings and Construction Summit (SBCS) 2026（4 月 20～22 日、スイス・ローザンヌ）」に参加し、建築・建設分野の脱炭素化に向けた当社の取り組みや考え方を発信しました。

SBCS は、建築・建設分野の脱炭素化に向けた国際的な議論をリードする場として位置付けられています。64 か国から、国際機関、各国政府、事業会社、金融機関など 468 名の関係者が参加し、政策・技術・金融の観点から具体的なアクションを加速することを目的としています。

同会議のプレナリー・パネルディスカッションには、ダイキン工業　東京支社渉外室　担当部長の小山師真が登壇しました。同セッションでは、建築分野の脱炭素化において、新技術の開発に加え、既存の高効率技術（ヒートポンプ等）の普及や冷媒のライフサイクル管理を社会全体で拡大していくことの重要性を訴えました。あわせて、優れた既存技術の社会実装を進めるには政策との連携が不可欠であり、ダイキンが政策づくりにも積極的に貢献していることを紹介しました。その上で、建築基準や金融市場がその価値を適切に評価・後押しすることが、バリューチェーン全体を動かす新たなビジネス機会の創出につながるとの考えを示しました。

さらに、プレナリー・プレゼンテーションセッションでは、ダイキンヨーロッパ社　環境リサーチセンター　副本部長の Patrick Crombez が登壇しました。既存建築の改修における化石燃料暖房からヒートポンプへの転換の有効性を事例で示すとともに、建物性能、施工方法、設備技術を一体で最適化することが、ヒートポンプの普及を通じた脱炭素化の鍵であると説明しました。また、標準化・モジュール化による施工効率の向上や人材不足への対応、電力システムの柔軟性向上への貢献といった観点についても紹介しました。

SBCS のセッションに登壇する小山師真（中央）と Patrick Crombez

〔お問い合わせ先〕ダイキン工業株式会社　コーポレートコミュニケーション室
大阪 (06) 6147-9923／東京 (03)3520-3100